

令和5年度 まちの予算

令和5年度予算の概要をお知らせします

これまで、財政収支の改善に取り組んできた成果として、令和3年度決算では6年ぶりに一般会計の実質単年度収支が黒字となりました。

新年度予算は、改選期であることから骨格での編成を基本としつつも、人口減や経済の活性化策を切れ目なく推進することが求められていることから、計画的に推進してきた施策については計上しています。

施策を計画的に展開し、

「笑顔と活気あふれる持続可能なまちづくり」を着実に推進します。

各会計の予算額

会計名	令和5年度	令和4年度	比較	増減率	
一般会計	51億5,300万円	40億500万円	11億4,800万円	28.7%	
特別会計	国民健康保険	4億2,000万円	4億6,970万円	△4,970万円	△10.6%
	後期高齢者医療	5,590万円	5,520万円	70万円	1.3%
	介護保険	3億9,990万円	3億8,780万円	1,210万円	3.1%
	簡易水道	3億7,640万円	3億4,510万円	3,130万円	9.1%
	集落排水	2億5,400万円	1億8,270万円	7,130万円	39.0%
合計	66億5,920万円	54億4,550万円	12億1,370万円	22.3%	

全会計総額は66億5,920万円で、前年度と比べると12億1,370万円増加しています。主な増加要因は、一般会計における壮瞥中学校の移転整備事業費や、西いぶり広域連合が進める新中間処理施設整備の負担、本年4月末にオープン予定のリゾートホテルの社宅等、民間賃貸住宅整備に対する補助金の増によるほか、公共施設の光熱費の値上がりなどです。

一般会計歳入 (図-1)

町税は、入湯税の増収を見込み、2,809万円増の4億2,210万円としています。

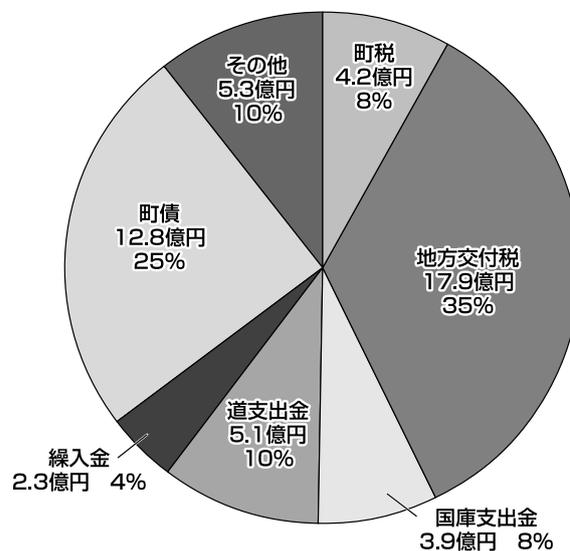
地方交付税は、近年の実績や国の動向を踏まえ、2,000万円増の17億9,000万円としています。

国庫支出金は、公立学校施設整備費負担金の増加などにより、1億7,296万円増の3億9,167万円となりました。

町の基金(貯金)からの取り崩しである繰入金は、1億1,570万円増の2億2,663万円増で、財政調整基金の取り崩しは6,100万円増の1億4,000万円となりました。

町債は、壮瞥中学校建替事業の増加などにより、7億8,770万円増の12億8,000万円の借り入れを予定しています。

図-1



一般会計歳出 (図-2)

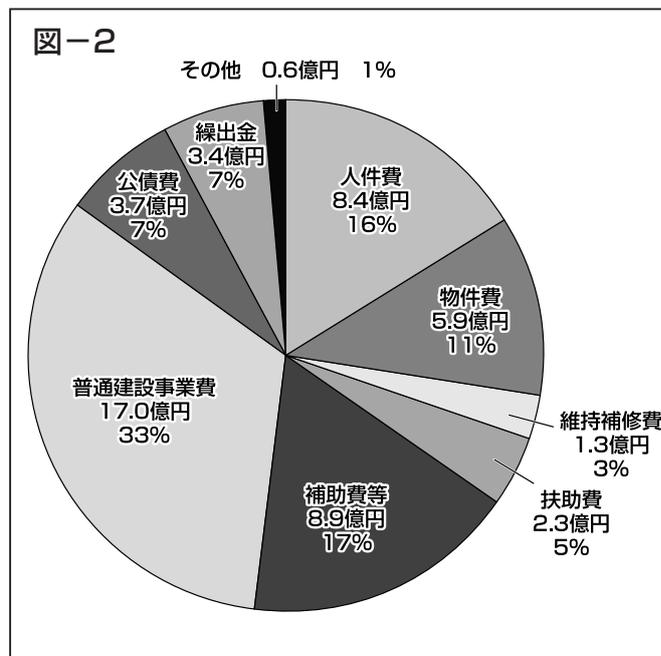
右図は、性質別に歳出を分類したものです。

人件費は前年度から職員退職手当組合納付金の減により3,085万円減の8億4,066万円としています。

普通建設事業費は、大型事業の増加に伴い、前年度から8億8,369万円増の17億301万円としています。

公債費は、借り入れた町債の返済で、166万円増の3億6,853万円としています。

返済額の減少は落ち着き、横ばいとなっております。

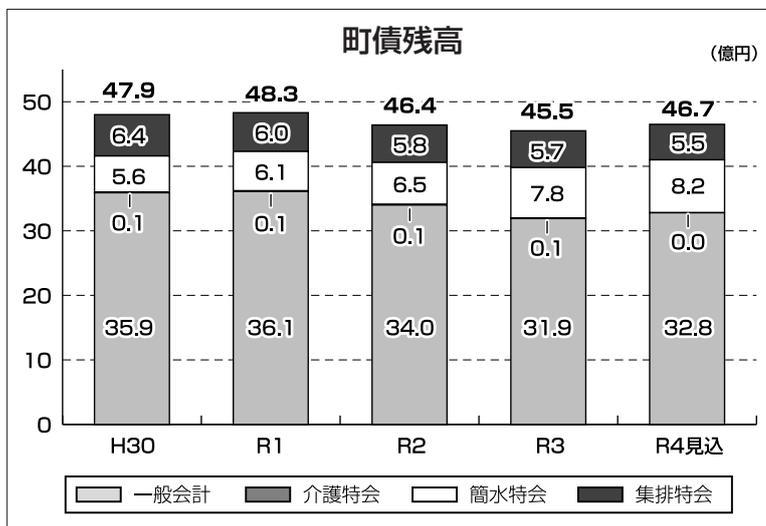


町債 (まちの借金) 残高の推移

町債残高は令和4年度決算では増加する見込みです。

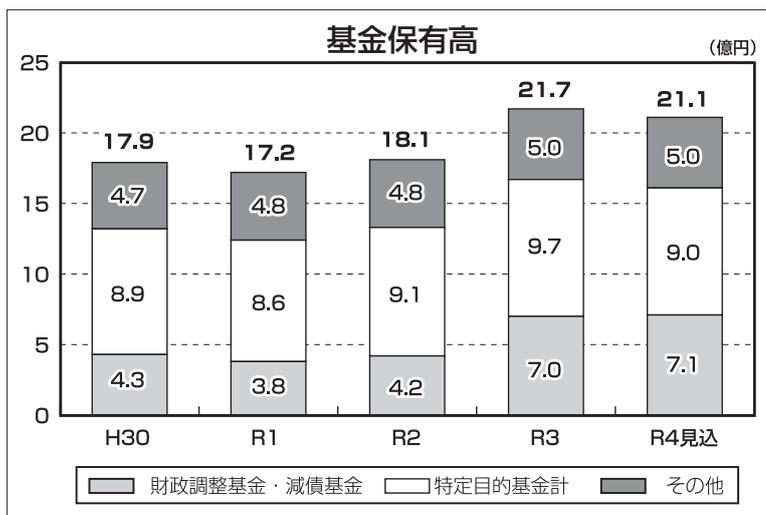
令和5年度以降は壮瞥中学校建替事業や新中間処理施設建設事業などの大型事業の実施とともに、国道や道道の支障物件移設事業の増などにより、増加することが見込まれます。

町債の多くは、償還 (返済) 額の全部または一部が地方交付税として国から補てんされる有利なものを活用しています。



基金 (まちの貯金) 保有高の推移

収支不均衡を財政調整基金の取り崩しで補てんする状態が続いていましたが、歳出予算を精査し、既存事業も含めた財源の活用を検討することで、不均衡は改善し、基金保有高は令和2年度から増加傾向にあり、令和4年度末見込も令和3年度末と同程度となる見込です。



本町が持続的に発展するために必要な施策を計画的に推進できるよう、安定的な財政基盤を確立し、将来を見据えた社会資本整備を推進します。

【お問い合わせ先】 壮瞥町役場企画財政課財政係 (☎0142-66-2123)